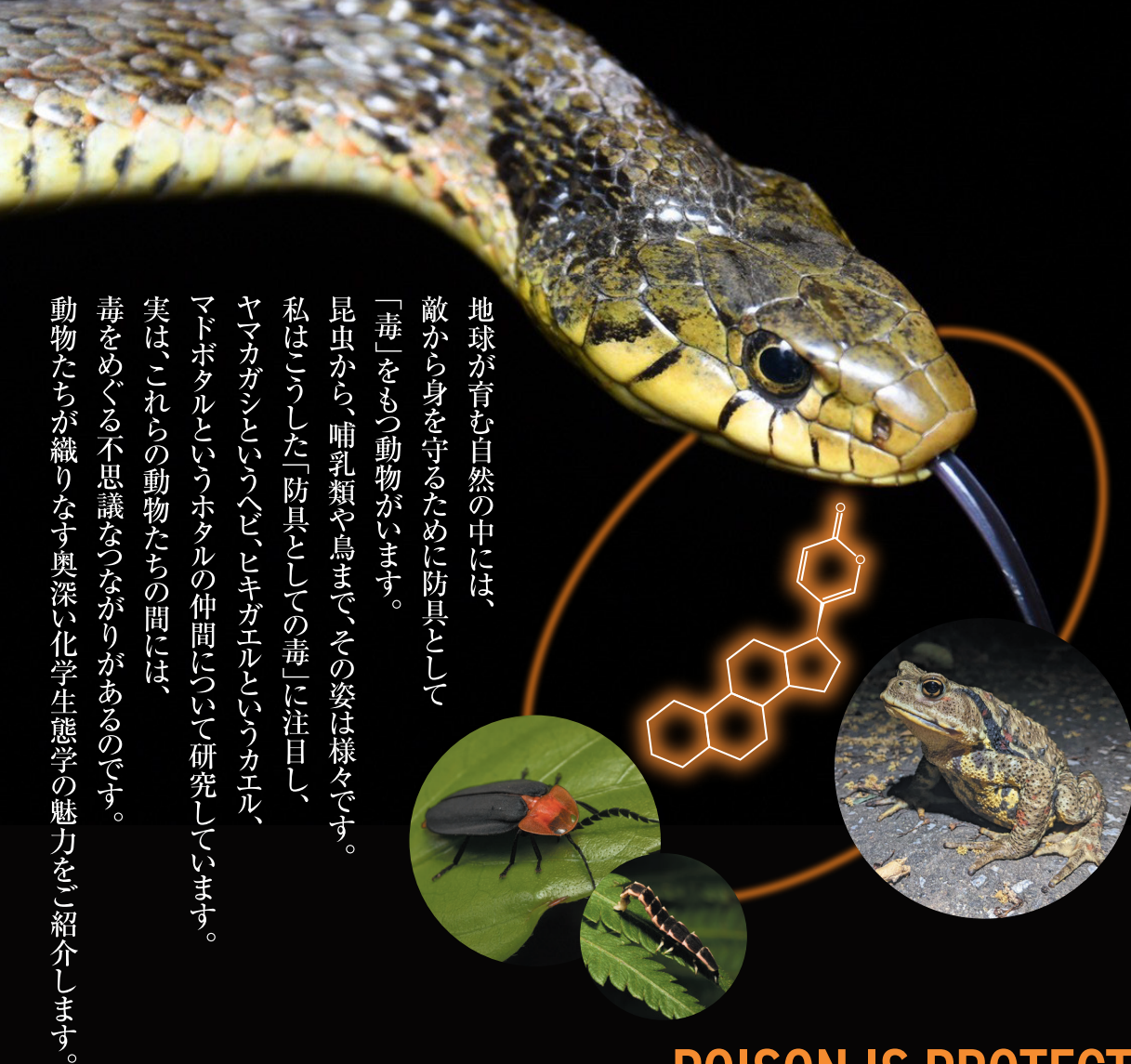


# 毒をめぐる 不思議なつながり

へび・カエル・ホタルから学ぶ



地球が育む自然の中には、敵から身を守るために防具として「毒」をもつ動物がいます。昆虫から、哺乳類や鳥まで、その姿は様々です。私はこうした「防具としての毒」に注目し、ヤマカガシというへび、ヒキガエルというカエル、マドボタルというホタルの仲間について研究しています。実は、これらの動物たちの間には、毒をめぐる不思議なつながりがあるのです。動物たちが織りなす奥深い化学生態学の魅力を、ご紹介します。

## POISON IS PROTECTIVE BARRIER



井上 貴斗氏  
いのうえ たかと  
(ゲスト)

名古屋大学大学院  
生命農学研究所 応用生命科学専攻 助教  
京都大学大学院 農学研究科 修了。博士(農学)。  
2024年度より、名古屋大学大学院 生命農学研究所  
応用生命科学専攻に着任し、学生時代から引き続き、  
ヤマカガシ類(へび)、ヒキガエル類、マドボタル類がもつ  
毒の研究に従事。専門は化学生態学。

2026.

6.17 WED

19:00-20:00 (ゲストトーク)

20:00-20:15 (Q&A)

参加費  
無料

【対象】 どなたでも(学生の方も歓迎)

【セミナー申込】 Zoomウェビナーにてお申し込み

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_6B5ALMcxTFqEzjuuboWeAQ](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_6B5ALMcxTFqEzjuuboWeAQ)

【視聴方法】 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。  
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

【問合せ】 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

